

令和7年9月25日

山元町議会議長 菊地 康彦 殿

派遣議員 菊地 康彦 伊藤 貞悦 齋藤 俊夫
渡邊千恵美 大和 晴美 丸子 直樹

議員派遣結果報告書

仙南・亙理地方町議会議長会主催の「令和7年度仙南・亙理地方議会議長会常任委員長研修会」に出席しましたので、その結果を下記のとおり報告します。

記

- 1 研修目的 研修を通して常任委員会委員長としての資質向上を図る。
- 2 研修月日 令和7年7月10日～11日
- 3 研修場所 ベネシアンホテル白石蔵王
- 4 研修内容
 - (1) 講演「議会運営の諸課題と新たな取り組み」
講師 議会運営アドバイザー 武田 裕樹 氏
 - (2) 各町議会事例発表「各町の委員会の取り組みについて」
 - (3) 分科会（意見発表会）
共通テーマ「常任委員会の運営と所管事務調査について」
- 5 研修概要
 - (1) 講演について
地方議会制度の運営に関する課題について、「発言」「表決」「委員会の諸問題」の観点から具体的な説明があった。
特に議員のコンプライアンスに関しては、セクハラ・パワハラの防止に向けた事例を交えた注意点が示され、議員政治倫理条例の必要性が強調された。
さらに、議員のなり手不足への対応として、条例による議会活動の拡充や住民参画の推進など、議会活動の「見える化」の重要性が示された。
 - (2) 各議会事例発表について
議会運営委員会、常任委員会ごとに、各議会の具体的な取り組みが紹介され、委員会運営の工夫や課題への対応方法について理解を深める機会となった。

(3) 分科会（意見交換会）について

3つの分科会に分かれ、各町の委員長等とフリートーク形式で意見交換を行った。他議会の先進的な取り組みや、委員長として共通する悩みなどを共有することで、今後の委員会運営に生かせる多くの示唆を得ることができた。

6 まとめ

1日目の講演では、議員のコンプライアンスに関する理解を深めるとともに、ハラスメント防止を含む議員政治倫理条例の必要性を再認識した。また、議員のなり手を育てるためには、住民との対話を重視し、議会活動の透明性を高めることが重要であると理解した。

2日目の意見交換会では、他議会の実践例や委員長としての課題を共有することで、今後の委員会運営に向けた具体的なヒントを得ることができた。